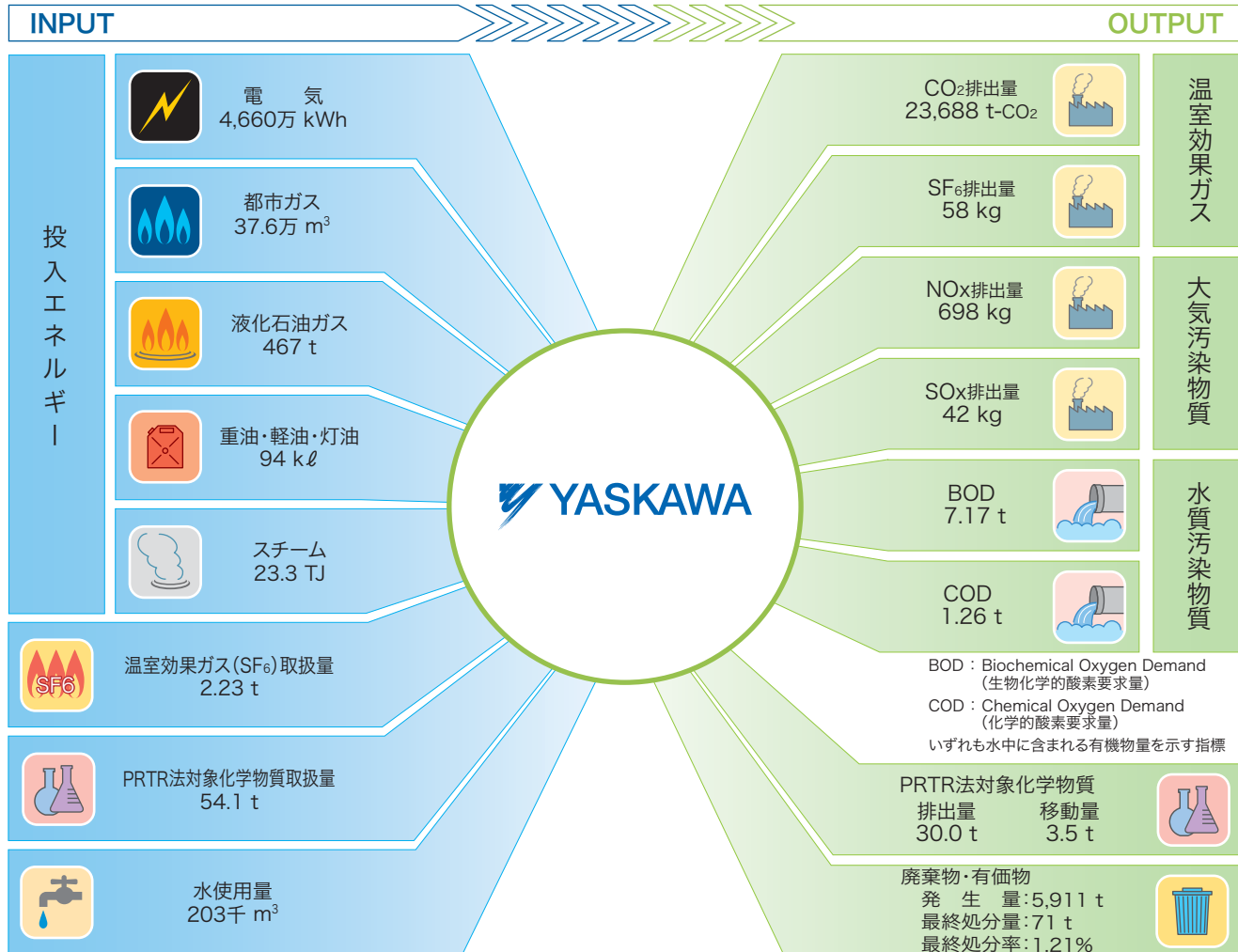




# 生産活動における環境負荷のINPUT-OUTPUT情報を まとめています。

## 2010年度環境負荷情報総括



2010年度におけるエネルギーや化学物質、資源などの投入量とCO<sub>2</sub>やその他の温室効果ガス、化学物質、廃棄物などの排出量は上記のとおりです。

CO<sub>2</sub>排出量については排出量では2009年度に比べ24%増加しましたが、生産高原単位については35%削減しました。照明のLED化やファン・ポンプのインバータ化などの設備の改善と全員参加の環境活動で設備の運用の見直し及び環境改善意識の高まりが、CO<sub>2</sub>生産高原単位の削減効果の大きな要因です。2011年度はピーク電力の抑制を最重要課題として、2010年度に定着した運用対策を継続し、省エネ設備の導入を加速させます。

廃棄物・有価物の発生量は、前年度に比べ41%増加となりましたが、生産高原単位では、25%削減できました。また、最終処分率については、再資源化の推進により0.06ポイント改善をしました。

●環境負荷増減(原単位)

(注) 前年度を100%とした場合の原単位比を示しています。

